

エコのわカンパニー



エコ窓普及促進活動で『市民が選ぶCSR大賞』特別賞受賞

環境省登録の地球温暖化対策地域協議会「エコ窓普及促進会」を設立し、窓の断熱リフォームの普及活動をしているマテックス株式会社。その活動が多くの人たちの共感を得て、日本財団主催の「市民が選ぶCSR大賞2010」^(※)特別賞を受賞しました。

(※)「市民が選ぶCSR大賞」とは、市民が直接、企業のCSRの取り組みを応援する目的で設立された日本で初めてのCSR大賞。CSR(Corporate Social Responsibility)とは、「企業の社会的責任」が直訳、社会に与える影響に責任を持つこと。



マテックス株式会社

(豊島区上池袋2-14-11)

<http://www.matex-glass.co.jp/>

代表取締役社長／松本 浩志さん

「『窓』の重要性や魅力を、より多くの方に知っていただきたいですね」



授賞式の様子。

創業から82年を迎え、これまで続いてきた会社の経営理念を明文化したところ、「窓をつうじて社会貢献する」という理念にたどりつきました。CSRをさらにすすめて、「エコ窓」という環境テーマで展開したのが現在の活動です。「エコ窓」とは、高い断熱性能で室内の冷暖房効率を上げることでCO₂などの排出削減に貢献する、環境にやさしい窓のことをいいます。ガラス卸売販売業として「卸の精神」を貫きながらも、「エコ窓普及促進会」の設立を行ない、地域の方々などを対象に「エコ窓」の体感デモやセミナーを開催しています。これらの活動が多くの方々から評価され、NPO法人の薦めで、CSR大賞に応募しました。そして、応募した57社の中から特別賞を頂いたのです。

「エコ窓」を普及促進することは、地球温暖化対策にも通じます。例えば、一般家庭の住宅では窓やドアから、夏は7割超の暑い熱が入りこみ、冬は5割弱の暖かい熱を失っています。日本の5,700万戸の既築住宅の窓をすべて「エコ窓」に替えたとなると、冷暖房の使用がおさえられ、年間1,700万トンのCO₂が削減できると試算されているのです。この1,700万トンとは、京都議定書で掲げている削減目標6%のうちの23%分にあたり、「エコ窓」で削減できるという大きなインパクトが、我々の活動に弾みをつけています。



エコ窓普及促進会は、としまエコライフフェアにも出展しています。

TOPICS

住まいのエコアップを实践しよう!

～冬の寒さ対策編～

今回は、前回紹介した“夏のエコアップ術”に引き続き、“冬のエコアップ術”をご紹介します!



例えば...

一般的な対策としては、遮光カーテンの設置ですが、最もよい改善方法としては、住宅エコポイント制度創設に伴い普及が進んでいる複層ガラスへの交換とともに、サッシについても断熱性の高いものに交換することが挙げられます。また、二重の空気層を作ることで高い断熱効果が期待できるダブルハニカム(ハチの巣)構造の断熱スクリーンの設置なども効果的です。

★窓を冷やさない

単板ガラスやアルミニウムなどの熱を伝えやすい素材を使った窓からは最も熱が失われやすいので、窓の防寒対策が有効です。

★樹木の利用

風をさえぎったり、弱めたり、方向を変えたりする働きがあり、建物を寒さから守ります。

★断熱のすすめ

外壁と内壁の隙間をなくし、気流を止めることで、熱を逃がさない住まいづくりが重要です。

「住まいのエコアップ」について もっと詳しく知りたい場合は??

エコ得情報カウンターにて、情報が満載の「住まいのエコアップマニュアル」の貸出を行っています。お気軽にお問い合わせください。



開設時間：平日午前8時30分から午後5時15分まで

場所：区民センター3階 環境政策課内

問い合わせ：エコ得情報カウンター 03-3981-1592(直通)